

# 顔検知システムと連動して 迅速的・確かな不正対策を実現

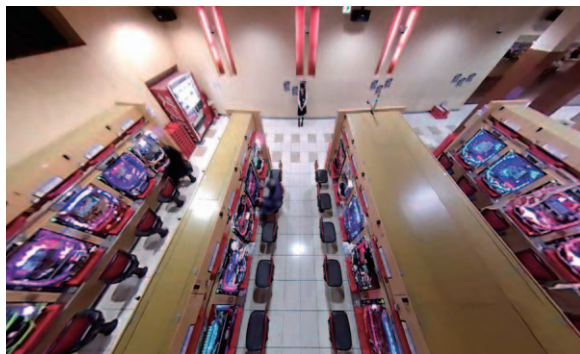
システムエイ・ブイの監視システムは、クラウド対応のネットワークシステムで映像を二元管理。ハイレベルな不正対策を実現し、ホール業界で高く評価されている。さらに同社が独自の技術で開発した360度全方位カメラと顔検知システムを活用すれば、複雑多様化する最近のゴト行為にも、かつてないほどの確で迅速な対応が可能になる。



上部に全方位カメラの映像、下部に条件に応じて絞り込んだ顔のキャプチャー画面を表示。不審者の特定が非常にスムーズに行える。また、全方位カメラは広いエリアを1画面で捕捉するので、複数の不審者がグループで入店した際も、実行役、プロテクト役、見張り役など全員を、手に取るように「チラク」できる。



より自然な見え方に補正した画像



全方位カメラの映像で視点を移動して操作。立体感のあるバーチャルなチェックが可能だ

## 3

60度全方位カメラ『AV-P8174A』の最大の特徴は、広い範囲の死角のない監視映像を1画面で録画できる点にある。普通の天井カメラも1台当たり、遊技台10台程度を監視することができ、360度全方位カメラはその数倍のエリアをカバー。しかも、5メガピクセル(500万画素)という高解像度、プレイヤーの手元など拡大して見たい場所を鮮明な映像で確認することができる。

この360度全方位カメラが実際に使い勝手が良いかは、PCの画面で実際の映像を操作してみればわかる。ライブ映像にせよ、録画映像にせよマウスを操作することで、上下左右に自由に視点を変え、拡大して見ることが可能。映像が捉えたエリアを歩き回っているような感じで、例えて言うならば「Google Earth」と似た操作感だ。まさに、「空を飛ぶ鳥」の視線で不審者のチェックが行える。

魚眼レンズを使っているので、島や通路などは極端に曲がって見えるが、アップした部分を直線に近づけ見やすく補正することが可能。しかも他社の全方位カメラが、切り取ってから補正して保存するのに対して、『AV-P8174A』は保存した映像の任意の箇所を後から切り出して補正することができ非常に便利だ。

不正対策の次のステップは不審者を特定すること。天井に設置した全方位カメラでは、顔の正面を捉えることができないので、島の出入り口の反対側にカメラを設置する。ここで撮影した一人ひとりのキャプチャー画像をデータベースに保存。不正が行われた島や時間を指定すれば、疑いのある人物をかなり絞り込んでピックアップできる。このリストと全方位カメラで捉えた映像を一つの画面で表示することができるので、不審人物の特定は非常に容易だ。

特定した人物の画像をマーキングしておけば、次回入店したときに監視システムが自動的に検知。システムのモニターでポップアップしたり、メールやアラームで知らせてくれる。この「顔検知システム」は、一般的な「顔認証システム」に比べ用途が限定されているシンプルでシステムなので手頃な価格。導入コストを大きく低減できるというメリットもある。

不正行為による被害は、最終的にユーザーに負担をかけがちだ。消費税率の引き上げで、一層のコスト削減を求められる中、客離れに直結するゴト被害はなんとしても防がなければならぬ。システムエイ・ブイの360度全方位カメラ『AV-P8174A』と「顔検知システム」を活用して、より安定したホール経営をめざしたいものだ。 [A]